

平成27年度 臼杵市総合教育会議 議事要旨

第1回 平成27年7月16日(木) 9:00～10:40 臼杵市役所 全員協議会室

出席者 臼杵市長 中野 五郎
臼杵市教育委員会
委員長 垂井 美千代
職務代理 野上 美智子
委員 神田 岳委
委員 渡辺 義弘
教育長 齋藤 克己

(事務局)

総務部長 日廻 文明
財政企画課長 阿南 俊二
財政企画課 課長代理 麻生 幸誠
財政企画課 副主幹 藤本 健次

(教育委員会 事務局)

教育次長 廣田 誠一
学校教育課長 小坂 一弘
社会教育課長 矢野 晃
文化・文化財課長 川野 義明
学校給食課長 齋藤 隆生
教育総務課 総括課長代理 佐藤 忠久
教育総務課 副主幹 宇都宮 律子

1. 開会

2. 総合教育会議の趣旨・経過について(事務局より説明)

3. 協議・調整事項 (●・・・市長の意見 ○・・・教育委員の意見)

臼杵市教育大綱について

- ・臼杵市教育大綱案の検討(市長が作成した案について、委員と意見交換)
→委員の意見を反映させながら、次回2回目の開催時に大綱を確定させる

【主な意見】

- 理念に、「生涯にわたる学びを支え、家庭・学校・地域の協働により～」とあるので、学校教育の前に、家庭教育の事を入れておかなければならないと思う。
- 方針3「文化に親しみ、郷土を愛する心を育て～」にもう少し臼杵らしい表現を加えてほしい。
- 理念や各方針の文末の括り方は、方針4だけ「めざす」とぼんやりしたものになっているため、明確な表現にした方がよりわかりやすくなるのでは。
- 教育委員会の計画の中で練った方がよいこともあるので、教育のアクションを拘束するようなことは、なるべく入れないようにしたい。

▶その他の意見交換

- ・学校現場で起こる問題、現場の先生の対応の仕方について
- ・生徒指導、学力向上対策、保護者対応等によりメンタル面の疲弊が著しいとされる、先生の現状について

4. 閉会

第2回 平成27年10月29日(木) 11:00~12:00 臼杵市役所 全員協議会室

出席者 臼杵市長 中野 五郎
臼杵市教育委員会
委員長 垂井 美千代
職務代理 野上 美智子
委員 神田 岳委
委員 渡辺 義弘
教育長 齋藤 克己

(事務局)

総務部長 日廻 文明
財政企画課長 阿南 俊二
財政企画課 課長代理 麻生 幸誠
財政企画課 副主幹 藤本 健次

(教育委員会 事務局)

教育次長 廣田 誠一
学校教育課長 小坂 一弘
社会教育課長 矢野 晃
文化・文化財課長 川野 義明
学校給食課長 齋藤 隆生
教育総務課 総括課長代理 佐藤 忠久
教育総務課 副主幹 宇都宮 律子

1. 開会

臼杵市教育大綱制定

2. 協議・調整事項

臼杵市教育の現状と課題など(意見交換)

・図書館専門員を配置したことの効果

本に触れる機会は増えているが、全国学力調査では、全国・県と比べて、「読書が好きな子ども」の率は若干低かった。冊数も大事であるが、読書の中身、内容をしっかり読み込むことが大事であると思われる。

読み聞かせも、間違いなくゲームや映像とは違う感性の育て方を確認できる。臼杵は全校に司書がいると言うと驚かれるが、そのような読書環境が整っていることを大切にし、感想を言い合うなどすると効果が広がっていくと思う。

・退職校長会活動と学校の先生との連携による学力支援及び受験対策

退職校長会が中心となり、退職した先生方等が子どもたちに勉強を教える「放課後子ども教室」や「夏休み教室」、「土曜教室」などの取り組みを、それぞれの部署と協力しながら行っている。退職後の先生方の負担を軽減するような仕組みを、行政にも考えてもらえると良い。

子育て支援センターについても、18歳までを対象としているので、今後、中高生等についても、さらにどのような事業を行っていくか、検討を重ねていきたい。

3. 閉会

第3回 平成28年3月25日(金) 9:30~11:00 臼杵市役所 全員協議会室

出席者 臼杵市長 中野 五郎
臼杵市教育委員会
委員長 垂井 美千代
職務代理 野上 美智子
委員 神田 岳委
委員 渡辺 義弘
教育長 齋藤 克己

(事務局)

総務部長 日廻 文明
財政企画課長 阿南 俊二
財政企画課 課長代理 麻生 幸誠
財政企画課 副主幹 藤本 健次

(教育委員会 事務局)

教育次長 廣田 誠一
学校教育課長 小坂 一弘
社会教育課長 矢野 晃
文化・文化財課長 川野 義明
学校給食課長 齋藤 隆生
教育総務課 総括課長代理 佐藤 忠久
教育総務課 副主幹 宇都宮 律子

1. 開会

2. 協議・調整事項

教育行政の本年度総括及び新年度の重点目標など

教育委員会としては、平成28年度は、「3つのきょう育(郷育・協育・響育)」を推進し、小中一体教育、中学校授業力向上プロジェクト、スクールソーシャルワーカーの配置、土曜ふれあい学校、協育ネットワークの取組など、「つなぐ」「つながる」を意識して取り組む。

<現在の課題>

- ・親育て(家庭教育)の仕掛け、仕組みづくり
- ・土曜ふれあい学校の更なる周知
- ・臼杵っこ検定の更なる工夫(活用・PR等)

3. 閉会